

2つの親密な空間で聴く

ウイーン古典派4人の巨匠たちの
最後のソナタ集

András Schiff Piano Recital

アンドラーシュ・シフ ピアノ・リサイタル

Last Sonatas

Haydn
Mozart
Beethoven
Schubert



*さいたま公演には休憩がございません。予めご了承ください。

*曲目・曲順はやむを得ず変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。

協力=ベーゼンドルファー・ジャパン

2017.3.19 [日] 15:00開演(14:30開場)

木のホール 神奈川県立音楽堂
Kanagawa Kenritsu Ongakudo

〈音楽堂ヴィルトゥオーゾ・シリーズ18〉

ハイドン:ソナタ 変ホ長調 Hob. XVI:52
Haydn: Sonata in E-flat Major, Hob. XVI:52

ベートーヴェン:ソナタ 第32番 ハ短調 作品111
Beethoven: Sonata in C minor, Op. 111

モーツアルト:ソナタ 第18(17)番 ニ長調 KV 576
Mozart: Sonata in D Major, KV 576

シューベルト:ソナタ 第21番 変口長調 D 960
Schubert: Sonata in B-flat Major, D 960

2017.3.25 [土] 15:00開演(14:30開場)

彩の国さいたま芸術劇場 音楽ホール
Saitama Arts Theater, Concert Hall

モーツアルト:ソナタ 第17(16)番 変口長調 KV 570
Mozart: Sonata in B-flat Major, KV 570

ベートーヴェン:ソナタ 第31番 変イ長調 作品110
Beethoven: Sonata in A-flat Major, Op. 110

ハイドン:ソナタ ニ長調 Hob. XVI:51
Haydn: Sonata in D Major, Hob. XVI:51

シューベルト:ソナタ 第20番 イ長調 D 959
Schubert: Sonata in A Major, D 959

©Nadia F Romanini

晩年の作を通して、作曲家たちの生のエッセンスを聴く

中村孝義(大阪音楽大学名誉教授・音楽学、音楽評論)

处女作というものは、往々にしてその作者(作曲家)の本質的なものを、原初的な形であれ明らかにしていることが少なくない。「三つ子の魂百までも」とはよく言ったもので、確かに人間の一生は、少し極端化していえば、その出発点でほぼ決まっているのである。それに対して、その生も終わり近くになってものされた晩年の作や遺作にはどのような意味があるのだろう。人間というものは、重篤な病に冒され、死期が完全に認識できる場合を除いて、自分がいつ生を終えるかは基本的には分からぬ。その意味では、最後の作品といえども、それがその作者の遺書的なもの、あるいは最終結論などということは、簡単にはいえない。

ただ不思議なことだが、どの作曲家においても、晩年の作品には、どこかただならぬ雰囲気が漂っていることが少なくない。もちろんそれは、ある人は諦念であったり、あるいは悟りであったり、はたまた生への執着であったりと、作曲家によって様々に異なりはするが、何かその人にとって決定的なものが如実に現れてくる。我々はそうしたものに接したとき、自ずとその作曲家が生きてきた全体が凝縮されたものを聴いた思いにとらわれる。作曲家がそれを必ずしも意識して作曲したのではないにしても、聴き手には、そこに作曲家がどのように人生を送ってきたかのエッセンスを感じてしまうのだ。その意味で作曲家の晩年の諸作を聴くのは、やはり特別な経験といわねばならない。

今回、今や円熟のまっただ中にあり、一期一会の深い音楽を奏で続けるシフが用意したプログラムは、神奈川県立音楽堂と彩の国さいたま芸術劇場の両館で、ハイドン、モーツアルト、ベートーヴェン、シューベルトのピアノのための最後の作品と、最後から二つ目の作品を2日にわたって聴こうというもの。我々はこの2日にわたる演奏会を通じて、果たして作曲家のどのような人生最終盤のメッセージを、またシフのそれに賭ける思いを聴き取ることになるのだろう。この2日が他に類をみない特別な経験をする日になることはおそらく間違いないだろう。音楽を通じて、何か特別な経験をしたいと望んでいる人は、この機会を逃してはならない。きっと多くの示唆や福音が待ち受けていることだろう。

2017.3.19 [日] 15:00開演(14:30開場)

木のホール 神奈川県立音楽堂(1,054席)

〒220-0044 神奈川県横浜市西区紅葉ヶ丘9-2

Tel. 045-263-2567 http://www.kanagawa-ongakudo.com/

主催=神奈川県立音楽堂(指定管理者:公益財団法人神奈川芸術文化財団)

全席指定(税込)

一般 ¥8,000 シルバー(65歳以上) ¥7,500 学生(24歳以下) ¥4,000

●一般発売 10月8日[土] ●KAme先行発売(webのみ) 9月24日[土]

[お問合せ&チケット取扱]

チケットかながわ 0570-015-415(10:00~18:00) 検索

窓口 音楽堂(13:00~17:00 月曜日)

神奈川県民ホール・KAAT神奈川芸術劇場(10:00~18:00)

ローソンチケット[Lコード 35217] http://l-tike.com/

*シルバー・学生券はチケットかながわでのみ取り扱います。(枚数限定)

*未就学児童の入場はお断りいたします。(託児有)

託児サービス イベント託児マザーズ 0120-788-222(土日祝日を除く10:00~12:00/13:00~17:00)
託児料:お子様お一人につき¥2,000(要予約・定員制)

[交通]

電車:JR・市営地下鉄「桜木町」駅から徒歩10分／京浜急行「日ノ出町」駅から徒歩13分

みなとみらい線「みなとみらい」駅から徒歩20分

バス:「横浜駅東口バスターミナル」乗車B-26・58・89・105・110系統「紅葉坂」下車徒歩7分

103系統「戸部1丁目」下車徒歩5分

*チケットはそれぞれのプレイガイドでお求めください。尚、チケットぴあ[Pコード 3/19 295-859 3/25 309-034]、イープラスでは両公演お求めいただけます。

*両会場とも駐車台数には限りがございます。ご来場の際はなるべく公共交通機関をご利用ください。

最新情報

はこちら!



@Kana_Ongakudo
@Music_SAF

ウィーンの至宝に
出会える場所。

Bösendorfer
TOKYO

“ワインナートーン”の代名詞として知られるベーゼンドルファー・ピアノ。そんなウィーンを代表する銘器を、存分に堪能できる場所、それがベーゼンドルファー東京です。国内最大級の展示台数を誇るショールームで、お探しの一台にきっと出会えます。

- 展示モデルをご試聴いただけます。(要予約・無料)
- レンタルスタジオで心おきなく練習いただけます。(要予約・有料)
- ウィーンで経験を積んだ調律技術者が、定期調律、修理など、様々なご要望にお応えします。



ベーゼンドルファー東京 〒164-8721 東京都中野区本町1-32-2 ハーモニータワー1階 (東京メトロ丸ノ内線、都営大江戸線、中野坂上駅下車徒歩3分、地下通路直結)
TEL. 03-6681-5189 FAX. 03-6681-5229 営業時間 10:00~18:00 定休日/水曜日
株式会社ヤマハミュージックジャパン 楽器営業本部 ベーゼンドルファー・ジャパン

boesendorfer.jp